

フレンドシップニュース

府中市学童保育連絡協議会

2018. 10月号 (No.2)

府連協は、市内の学童クラブの保護者が集まって情報交換をし、意見を出し合い、府中市の学童っ子たちが安心して楽しく放課後を過ごせるよう活動しています。

◆ 主な活動 ◆

三多摩学童フォーラム in 日野に参加（7月8日）

第29回三多摩学童フォーラムが開催されました。「今日の子どもの状況、学童保育の現在と制度を学び、『地域で期待される学童保育』『よりよい学童保育環境』の実現を目指す」ことを目的とし、参加総数462名。府中からは46名が参加しました。

府中市に今年度の要望書を提出（7月31日）

昨年度に実施したアンケートをもとに学童利用者の声を取りまとめ、学童環境の改善を求めて市に要望書を提出しました。以下、今年度提出の要望書より一部抜粋。

＜育成時間の延長を求めます。～小1の壁への対応～＞

開館時間を8時へ統一し、閉館時間を19時まで延長、それに伴い集団下館の時間帯を増やすことを求めます（土曜日・学校休校日・長期休業日・振替休業日・学級閉鎖を含む）。

保護者の望む育成時間については、その勤務・通勤形態により状況は大きく異なります。近年、国をあげて問題になっている「小1の壁」とは、小学校入学を期に、仕事と育児の両立が難しくなる問題のことです。

現状、18時の閉所時間に間に合わず、17時～19時の間子どもだけで過ごしている家庭が多くみられます。また、学校休校日の朝は保護者が出勤した後に子どもが鍵をかけて家を出ている家庭も少なくありません。土曜日におきましても保護者の勤務体制は変わらない為、子どもと保護者の負担になっているのが現状です。子どもたちの安全と保護者が安心して働ける環境づくりを求めます。

その他、多くの要望を提出しました。近年ではこうした活動の結果、夏休み中の育成時間が8:00から可能になりました。実現のためには根気強く訴え続けて行くことが不可欠です。今後も子どもたちのためにより良い学童を目指して引き続き活動していきます。

市議会議員との意見交換会を実施（8月3日）

提出した要望書に基づき、市議会議員の皆様と意見交換をしました。

＜参加議員の皆様＞

増山明香様、加藤雅大様、横田実様、須山卓知様、西宮幸一様、結城亮様、服部ひとみ様、西埜真美様、稲津憲護様、杉村康之様

詳しい内容についてはホームページの「2018年度府中市議会議員意見交換会 議事録」をご覧ください。

◆ お知らせ ◆

指導員懇談会の実施見送りについて

今年度、府連協主催の指導員との懇談会は実施せず、各学童において実施することになりました。学童ごとに保護者と指導員の皆さんが情報交換をし、連携を密にしていくことを目的としています。

子どもまつりで府連協有志によるバザーを実施

快晴の10月7日にすずかけ公園で「第41回府中子どもまつり」が開催され、各父母会は早朝から会場設営に尽力。参加した子どもたちは一日を楽しみました。西日本の豪雨被害や北海道地震の報道を聞き、今年も急きょ被災地支援バザーを出店し、学童出身の“こども店長”たちが運営のお手伝い。多くの提供品が寄せられ、大勢の方に購入してもらえました。なかには「被災地の方へ」と自分の工作を持ってきてくれた子も！みなさんの気持ちを添えて全国学保連協経由で売り上げ1万880円＋募金2300円を寄付させていただきます。





府連協に関する素朴な疑問を解決！

Q 府連協ってなに？

A 府連協とは、府中市学童保育連絡協議会の略称です。現在、市内の 22 学童のうち 17 学童が参加しています。府連協は、子どもたちが豊かな放課後生活を送ることができるよう、育成内容の充実・強化を図ることを目的とし、保護者同士の情報交換や交流の他、行政への働きかけを行っています。

Q どんな係があるのですか？

A 府連協の役員は、三役とそれ以外の役員とに大別されます。三役は、会長、副会長、事務局長、事務局次長で構成され、中心になって府連協を運営します。その活動をサポートし学童利用者と府連協をつなぐのが印刷、託児、書記、会計、府連協ニュース・Web 係です。そのほか、現役の役員が活動に関する悩みや疑問を相談できる、顧問（前年度の役員）や OG の皆さんがいます。

現在、担当によって業務量に差がある状況ですので、今年度は、それぞれの業務のリスト化、分担や引き継ぎ書の見直し等を行う予定です。次年度の役員の皆さんにスムーズに移行できるよう改善してまいります。

Q 役員は会議が多くて大変だと聞きますが……。

A 府連協では、これまで月平均で 2 回の三役会や役員会等が行われていました。加えて、三多摩運営委員会、教育連絡会などさまざまな団体と連携し、関連行事にも参加してきましたが、近年、役員の負担の大きさを理由に、府連協活動から退く学童もありました。こうした現状を踏まえて、今年度は、「役員の皆さんにとって府連協活動が参加しやすく、継続しやすい」ものになるよう改善しています。

例えば、LINE を活用して三役会のグループを作成し、オンライン上で情報共有や意思決定を行うことで、平日夜に実施されていた会合を 5 割削減しました（前年度比・9 月末時点）。また、役員の皆さんの貴重な時間を無駄にしないよう、タイムスケジュールを組んで会議を行っています。学童を利用する子どもたちと保護者にとって本当に必要なことは大切にしつつ、省力化・効率化を進めています。

引き続き役員の皆さんの負担を軽減する取り組みを進めて、次年度に引き継いでまいりますので、府連協へのご理解とご協力をお願いいたします。



Q 役員になってよかったことってありますか？

A ・今学童が抱えている問題、父母や子どもたちの要望を知り、その解決に向けて微力ながらも自分が加わっていることにやりがいを感じます。ほかの学童の皆さんと同じ府中の空の下で仕事、子育て、府連協活動と切磋琢磨し合いながら、時間を共有できることをうれしく思います（T さん）。

・ほかの学童の方達と交流ができることで視野が広がりました。夏休みの開所時間が 8 時である「今の学童」があるのも府連協の活動によるものであることを知りました（A さん）。

・多様な家庭環境・雇用形態がある中で、みな自分の時間を削って活動に取り組んでいます。私自身、自ら手を挙げて参加したわけではなく、時には心の中で、時には言葉にして、子どもたちに「ごめんね」と言いつつ活動しています。一方で、以前は「わが子が 3 年間の学童生活を楽しく過ごせればいい」「学童があるから親としては安心して仕事ができる」程度にしか考えていませんでしたが、こうして府連協活動に携わることで、学童生活そのものが多くの団体や保護者の活動によって支えられ、守られていることを実感しました（T さん）。

・アフリカに「早く行きたければ、ひとりで行け。遠くまで行きたければ、みんなで行け」ということわざがあるそうですが、それを実感することがあります。仕事に、家事に、育児にと時間がないなかで活動する役員の方々は、判断力、調整力、実行力に優れ、学ぶことが多い日々です（I さん）。



フレンキョウホームページ

<http://furenkyou.webnode.jp/>

Mail : furenkyou2018@gmail.com